学校番号	1007

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語ベイシック B	2	3	Elixir2

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、１２年次に学習した英語力を確実に定着させることを目的にしています。
特にリーディングの問題演習を中心に様々な形式の問題演習を行い、合わせて授業内ではリスニングや基本表現や文法語句の定着を図ります。また、教科書で学んだ表現を活用し自己表現についても学びます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然なスピードで話される短い身の回りのことや身近なトピックについての英文を数回聞けば、その使用状況や概要を概ね理解できる。 ・教室で用いられる英語は、自然なスピードではなされてもほぼ理解でき、即座に行動に移すことができる。	・まとまりのある英文を英語の語順で読む。各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、文章全体の主題を把握できる。 ・様々な種類の英文をその意図を理解し速度を変えながら必要な情報を読むことができる。	・身近なトピック（自分のこれまでの経験や夢、希望）について、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明し、他人と意見や情報を交換することができる。	・身近なトピック（自分のこれまでの経験、将来の夢や希望など）について、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く話すことができる。	・自分の意見や具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て書くことができる。 ・与えられたトピックに関して、少しの時間の準備で自分の意見を明確にしながら、まとまりのある英文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の語彙・表現・文法の働きなどの理解を深め、これらの知識を活用し読む・聞く・書くことによるコミュニケーションにおいて、状況に応じて適切に活用することができる。	・日常的な話題や社会的な話題ついて、場に応じた語句や表現や文法を活用して、情報や相手の意図や的確に理解できる。また、これを活用し伝え合うことができる。	・主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Unit 1 ～ Unit 3	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 文型や時制に関する重要表現を用いて、各問題を解くことができる。 c: 文型や時制に関する重要表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 文型や時制に関する重要表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 文型や時制に関する表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	中間考査			
	Unit 4 ～ Unit 6	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 受動態や助動詞・不定詞を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと （発表）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 受動態や助動詞・不定詞を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	期末考査			
2学期	Unit 7～ Unit 9	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 動名詞や関係詞を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 動名詞や関係詞を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 動名詞や関係詞を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	中間考査			
	Unit 10 ～ Unit 12	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 動名詞や関係詞を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト

		話すこと （発表）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 動名詞や関係詞を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 動名詞や関係詞を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	期末考査			
3学期	Unit 13 ～ Unit 15	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度